



第9回常任理事会

日時 平成20年8月12日（火）18：00～20：37
場所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、榊山・山本・北野・渡辺・小山・目黒・藤井・藤原・深澤・西里・直江・橋本各常任理事、高木・水元・中村各監事

（事務局：島影事務局長ほか12名）

会議に先立ち、長瀬会長から当会理事の山英昭先生が本日12時3分にご逝去された旨報告がなされた。

協議事項

第1号 平成20年度北海道医師会賞受賞者に関する件（渡辺常任理事）

8月5日の受賞者選定委員会で選定された8名を本年度の受賞者と決定。

第2号 日本医師会代議員の繰上げ補充に関する件（深澤常任理事）

山代議員のご逝去により代議員1名が欠員となるため、道南ブロック選出の大北予備代議員を繰り上げ補充することとし、8月23日開催の第3回全理事会に提案する。

第3号 北海道地方社会保険医療協議会委員の推薦に関する件（深澤常任理事）

宮本・畑各副会長、榊山・西里・深澤各常任理事を推薦することと決定。

第4号 第130回北海道医師会臨時代議員会の開催に関する件（深澤常任理事）

9月14日（日）午前10時から当会館8階会議室で開催する臨時代議員会の日程と提出議題を決定。

第5号 平成20年北海道医師会臨時総会の開催に関する件（深澤常任理事）

9月14日（日）午後2時30分から当会館8階会議室で開催する臨時総会の提出議題を決定。

第6号 北海道医師会創立61周年記念行事の開催に関する件（深澤常任理事）

11月9日（日）午後1時30分から札幌グランドホテルで開催する記念講演、記念式典、記念祝賀会の日程と次第を決定。

第7号 第2回郡市医師会長協議会の開催に関する件（深澤常任理事）

11月9日（日）午前10時から当会館8階で開催することと決定。

第8号 平成20年度道医会費減免追加申請に関する件（深澤常任理事）

道医会費減免申請者 研修医9名 免除額100,000円を承認。

第9号 第3回全理事会の議案に関する件（深澤常任理事）

8月23日（土）午後4時から当会館9階理事会室で開催する全理事会の提出議案を決定。

第10号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（渡辺常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座65件、道医認定生涯教育講座44件の合計109件を承認。

第11号 その他

(1) **第4回(移動)全理事会[10月4日(土)・小樽市]の開催スケジュールについて（深澤常任理事）**

10月4日（土）午後4時からヒルトン小樽で開催と決定。

(2) **世界医師会総会[10月15日(水)～18日(土)・ソウル]について(深澤常任理事)**

医療と人権をテーマに開催される旨アナウンスされた。(出席者は未定)

報告事項

1. **医業経営講習会[7月10日(木)・函館市、29日(火)・江別市]について（橋本常任理事）**

3年ぶりに各地に出向くことになり、本年度は函館市医師会と江別医師会の2カ所で開催した。

出席者は、両会場合わせて50名であった。

2. **日医第4回男女共同参画フォーラム[7月19日(土)・福岡市]について（藤井常任理事）**

冒頭、唐澤日医会長（宝住副会長代読）、横倉福岡県医師会長の挨拶の後、「男女共同参画推進のために」と題し、福岡県女性財団の稗田理事長により基調講演が行われ、続いて、日医男女共同参画委員会の活動内容、日医医師再就業支援事業についてそれぞれ報告があった。また、「医療崩壊をくいとめるために、今何ができるか、何をすべきか」をテーマにシンポジウムが行われ、総合討論の後、本フォーラムの宣言が採択された。参加者は363名。次回は当会担当で来年7月25日（土）に開催するため、長瀬会長より次期担当として挨拶を行った。

3. **地域医療崩壊阻止のための総決起大会[7月24日(木)・東京都]について（直江常任理事）**

2009年度予算の概算要求基準（シーリング）の閣議了承前に、社会保障費の自然増を毎年2,200億円削減する政策の撤回を求めて、国民医療推進協議会の総決起大会が開催された。唐澤会長をはじめ、各界の代表や来賓の尾辻参議院自民党議員会長などの挨拶の後、「社会保障費の年2,200億円削減撤廃」の決議

を採択し「頑張ろうコール」で終了した。当会からは長瀬会長ほか6名が出席。全国からは35名の国会議員を含め1,200名が参加した。

4. 日本の医療を守る道民協議会第7回総会[7月26日(土)]について(深澤常任理事)

日本医師会の要請により、「骨太の方針2008」(6月27日閣議決定)に記載された「社会保障費2,200億円の削減」に断固反対すべく、同日午後2時より北海道厚生年金会館で24団体121名の参集を得て開催した。本協議会理事である小職が進行を務め、長瀬協議会会長の挨拶の後、議事として一部団体からの選出役員の変更を承認した。続いて「地域医療崩壊阻止のための国民運動」について、直江常任理事が7月24日都内で開催された「地域医療崩壊阻止のための総決起大会」の報告を含めてこの運動の趣旨を説明し、討論では代表して当会ほか4団体から発言を行った後、フロアを交えて意見を交換した。最後に宮本副会長が決議を提案し満場一致で採択した。この決議は閣僚、国会議員等約680カ所に送付した。

5. 第1回医療政策等検討委員会・懇談会[7月26日(土)]について(直江常任理事)

西島英利参議院議員が同席され、当会から緊急臨時的医師派遣事業や地域医療の状況などについて説明した後、委員から各地域の状況報告を受けて討議した。新規事業である「地域別意見交換会」への協力をお願いし了承いただいた。西島議員からは医療政策に係わる中央情勢報告を伺った後、親しく懇談した。

6. 第21回全国有床診療所連絡協議会総会[8月2日(土)～3日(日)・青森市]について(深澤常任理事)

ねぶた祭りの中、全国から約540名の参加者を得て開催された。1日目は、竹嶋日医副会長による特別講演Ⅰ「わが国の地域医療のあり方—安心と安全な医療を目指して—」と、厚労省医政局深田総務課長による特別講演Ⅱ「今後の医療政策について」が行われた。2日目は、「住民を支える有床診療のあした」と題して、岩手県産婦人科医会小林会長「50万人のお産難民を作らないために—産婦人科有床診療の未来—」、日医総研江口主任研究員「高齢化社会における有床診療所—これからの方策—」、東北大学濃沼医療官理学「地域医療再生に向けた有床診療所の役割」の3名によるフォーラムが行われた。次回の第22回総会は、平成21年8月1日(土)・2日(日)に熊本市において開催される予定。

7. 第1回勤務医部会運営委員会[8月2日(土)]について(北野常任理事)

勤務医懇談会ならびに勤務医部会全体会議等の内容について検討を行ったほか、勤務医活動を活性化するため、本年度の新規事業とした勤務医部会員等への道医報投稿依頼および勤務医座談会の開催について協議した。

また、来年7月25日(土)札幌グランドホテルにて

当会担当で開催する「日医第5回男女共同参画フォーラム」に向け、道内の女性医師および病院管理者に対し実施する「女性医師の就労環境に関する調査」について協力依頼した。

8. 北海道小児救急地域医師研修事業協議会[8月4日(月)]について(目黒常任理事)

北海道小児科医会、北海道、当会の三者で今年度の研修会開催計画について協議を行い、全道8地域において開催することおよび内容を決定した。

9. 北海道医師会賞受賞者選定委員会[8月5日(火)]について(渡辺常任理事)

本年度は札幌市医師会、岩見沢市医師会、三大学医師会から個人8名の推薦があった。今井札幌医大が委員長となり慎重に審議を行った結果、推薦のあった8名を「北海道医師会賞」の受賞者に決定した。

10. 医育ブロック会議[8月5日(火)]について(深澤常任理事)

三医育機関医師会長ならびに三大学学長(医学研究科長)の出席のもと、昨年度に引き続き「地域医療における医師確保対策について」をテーマに、宮本副会長から「道内の医師派遣システムの現況について」、各医育機関出席者から「医師養成と新医師臨床研修制度の現状について」それぞれ話題提供の後、有意義な意見交換を行った。

11. 緊急臨時的医師派遣事業第4回運営委員会[8月7日(木)]について(宮本副会長)

派遣依頼のあった5医療機関8診療科の状況および登録済派遣元医療機関15病院の条件を精査の上、3件の派遣を決定し他は継続調整とした。

12. 第3回日本禁煙学会学術総会[8月9日(土)～10日(日)・広島市]について(山本常任理事)

「地域ぐるみで取り組む禁煙活動」をメインテーマに、約500名の参加者を得て開催された。当会からは2日目のシンポジウムに小職が発言者として参加、北海道における禁煙活動の様々な取り組みを紹介し意見交換を行った。次回は、札幌社会保険総合病院・秦院長が会長を務め、平成21年9月12日(土)・13日(日)、札幌市(シェラトンホテル札幌)において開催の予定。

13. 外部各委員会報告

(1) 第1回子どもの健康を守る地域専門家総合連携事業連絡協議会[7月22日(火)]について

(直江常任理事)

本協議会は、具体的な子どもの現代的な健康問題をテーマに設定し、モデル地域における地域レベルの組織・体制構築の実践を通じて様々な課題やその解決に向けての方策に関し知見を集積することを目的に、今年度から北海道教育庁により設置された。本年度はモデル地区にせたな町を指定し、年間70回程度学校等に専門家を派遣するなど事業を展開していく予定。

(2) 第1回北海道看護職員確保モデル事業検討会

【7月28日(月)】について(北野常任理事)

過去2年間の北海道看護職員確保モデル事業の実施結果が報告された後、平成20年度末就業看護職員の臨床実務研修要綱(案)などについて協議が行われた。

(3) 第1回北海道医療審議会【7月29日(火)】について(長瀬会長)

平成20年度第1回医療法人部会の認可状況報告の後、審議会運営要綱を改正し、従来の医療法人部会に加え、「地域医療部会」の新設を決定。併せて、「へき地等病院の医師配置標準特例措置」について審議。鹿追町国保病院の申請が了承された。道内の特例措置許可病院は16施設。旭川市で開設を計画している産科・婦人科診療所・19床の届出を審議、道北医療圏の周産期医療確保の観点から了承された。医療法の一部改正後初めての事例になる。

14. 日医各委員会報告

(1) 社会保険診療報酬検討委員会【7月23日(水)】について(西里常任理事)

委員長に安達秀樹(京都府医師会副会長)、副委員長に井原裕宣(東京都支払基金副審査委員長)と難波俊司(日本放射線科専門医会理事)を選任。会長諮問は「平成20年度診療報酬改定の評価」「現在の診療報酬における問題点について」。また、当委員会の中に「小委員会」を設置することとした(メンバーは今後決める予定)。その後会長諮問に対するフリートーキングを行った。

(2) 救急災害医療対策委員会【7月23日(水)】について(目黒常任理事)

委員長に小林國男(帝京大学医学部名誉教授)、副委員長に井戸俊夫(岡山県医師会会長)を選任。その後、会長諮問「救急災害医療における連携のあり方」「医師会の災害時医療救護対策」に対するフリートーキングを行った。

(3) 生涯教育推進委員会【7月24日(木)】について(渡辺常任理事)

委員長に福井次矢(聖路加国際病院院長)、副委員長に近藤邦夫(石川県医師会理事)を選任。会長諮問は「カリキュラム履修にあたっての具体的環境整備」。報告事項、承認事項の説明後、協議に入り諮問に関する討論等があり、小委員会を設置して検討することとなった。

また、今般、日医より、先般実施された総合医・総合診療医(仮称)養成のための認定制度等に関するアンケート調査結果を踏まえ、再度、「地域医療、保健、福祉を担う幅広い能力を有する医師」の養成を目的とする認定制度(案)という形で意見募集がきている。ご高覧の上、意見があれば、後日お申し出いただきたい。

(4) 健康スポーツ医学委員会【7月24日(木)】につ

いて(榊山常任理事)

委員長に太田壽城(国立長寿医療センター病院長)、副委員長に立入克敏(京都府医師会監事)を選任。会長諮問は「認定健康スポーツ医活動推進のための具体的方策ーカリキュラムの改定等を中心としてー」。20年度健康スポーツ医学講習会の座長の決定、20年度再研修会のテーマについて検討し、その後会長諮問に対するフリートーキングを行った。

(5) がん対策推進委員会【7月24日(木)】について(畑副会長)

委員長に垣添委員(国立がんセンター名誉総長)、副委員長に小職が選任された。会長諮問は「がん検診の今後のあり方ー検診受診率向上と精度管理システムー」。その後会長諮問に対するフリートーキングを行った。

(6) 地域医療対策委員会【7月25日(金)】について(直江常任理事)

委員長に鈴木勝彦(静岡県医師会会長)、副委員長に上原春男(京都府医師会副会長)を選任。会長諮問は「地域社会の医療ニーズと医療提供体制の在り方・医師確保対策・次期医療法改正」。検討項目のうち、医師確保対策について討議した。

(7) 医事法関係検討委員会【7月25日(金)】について(橋本常任理事)

委員長に横倉義武(福岡県医師会会長)、副委員長に大井利夫(日本病院会副会長)を選任。会長諮問「患者をめぐる法的諸問題について」に対するフリートーキングを行った。

(8) 定款・諸規程改定検討委員会【7月30日(水)】について(宮本副会長)

委員長に高島三喜(栃木県医師会会長)、副委員長に岡本公男(鳥取県医師会会長)を選任。会長諮問は「新公益法人制度に向けた定款その他諸規程の改定について」。担当の羽生田常任理事から新公益法人制度改革について説明を受けて意見交換を行った。

(9) 医療IT委員会【7月31日(木)】について(藤原常任理事)

委員長に佐伯光義(愛媛県医師会常任理事)、副委員長に藤井純司(京都府医師会理事)を選任。会長諮問「医療のIT化の光と影」に対するフリーディスカッションを行った。

(10) 医療政策会議【8月6日(水)】について(長瀬会長)

議長に田中滋(慶応義塾大学大学院経営管理研究科教授)、副議長に酒井國男(大阪府医師会会長)を選任。会長諮問「経済成長と医療政策のあり方」に対するフリートーキングを行った。

(11) 医療関係者対策委員会【8月8日(金)】について(北野常任理事)

委員長に森下立昭(香川県医師会会長)、副委員

長に井上雄元(千葉県医師会副会長)を選任。会長諮問「将来を見据えた看護職種の制度・資格のあり方」に対するフリートーキングを行った。

(深澤常任理事)

日医が平成20・21年度の会内委員会として設置し、当ブロックから推薦した委員が所属する27の委員会のうち、現時点までに開催された委員会の日医会長諮問事項と委員長・副委員長等の一覧を提示し報告した。

(2) 環境保健委員会[7月31日(木)]について

(古屋理事)

委員長に桜井治彦氏(中央労働災害防止協会労働安全衛生調査分析センター技術顧問)、副委員長に佐藤洋氏(東北大学医学系研究科教授)を選出した。熱中症に関する講演とPRTR制度に関する説明がなされた後、会長の諮問事項である「環境保健に関する情報システムの構築」についてフリートーキングが行われた。

(3) 有床診療所に関する検討委員会[8月1日(金)]について (西池理事)

委員長に大道久氏(日本大学医学部社会医学講座教授)、副委員長に内藤哲夫氏(横浜市医師会名誉会長)が会長指名された。会長諮問「有床診療所の適正な評価に向けた方策—発展と安定運営に向けて—」について意見を交換した。

5. 外部各委員会報告

(1) 北海道医療審議会について (長瀬会長)

地域医療確保に早急に対応するために運営要綱を改正し、従来の医療法人部会に加え、10名の委員からなる「地域医療部会」の新設を決定した。当部会では「地域医療支援病院の承認・取り消し」「へき地等病院の医師配置標準特例措置許可」「診療所の病床設置届け出」を審議する。

6. その他

(1) 地域医療に関わる地域別意見交換会の開催について (直江常任理事)

本年度新事業として、当会から各地に出向いて地域医療体制の実態を伺い、意見交換を行う主旨を説明し、協力方を依頼した。9月から21年2月にかけて6カ所(帯広市・中標津町・俱知安町・滝川市・伊達市・北見市)で開催予定。

(2) 第4回(移動)全理事会[10月4日(土)・小樽市]の開催スケジュールについて (深澤常任理事)

今年度の第4回全理事会は、10月4日(土)小樽市のヒルトン小樽を会場として開催し、議事を終えたところで、例年どおりブロック内の郡市医師会役員との意見交換の場を設ける等の主なスケジュールを説明した。

(3) 第5回男女共同参画フォーラムについて

(藤井常任理事)

7月19日(土)、福岡市で開催された第4回フォーラムの概要と過去の開催状況を説明し、来年7月25日に日医主催・当会担当で札幌で開催する第5回フォーラムについて協力を依頼した。

承認事項

第3回全理事会

日時 平成20年8月23日(土) 16:00~17:44
場所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、柳山・山本・北野・渡辺・三戸・目黒・藤井・藤原・深澤・西里・直江・橋本各常任理事、上埜・沖・鈴木・増田・古屋・吉田・西池各理事、高木・中村各監事、飯塚顧問、伊藤議長、塩野副議長、島田日医裁定委員、河西日医代議員。

(事務局:島影事務局長ほか13名)

会議に先立ち、長瀬会長より、8月12日12時3分に当会理事の山英昭先生がご逝去されたとの報告の後、ご冥福を祈り黙祷を行った。

報告事項

1. 地域医療崩壊阻止のための国民運動について

(直江常任理事)

骨太の方針の“社会保障費2,200億円削減”を撤廃させるため、日医では国民医療推進協議会の主催で7月24日に東京で総決起大会を開催、国会議員35名を含め全国から1,200名が参加した。当会からは長瀬会長以下7名が出席した。また各都道府県医師会に地域集会開催・決議採択の要請があり、7月26日に「日本の医療を守る道民協議会第7回総会」を開催し、撤回決議文を採択、閣僚・議員等680カ所に送付した。

2. 緊急臨時的医師派遣事業について (宮本副会長)

本年度、道において緊急に予算措置がとられた本事業は、当会と北海道病院協会が実施主体となり推進している。事業内容と現在までの派遣依頼、派遣元登録、運営委員会での調整・決定状況について報告した。

3. 日医理事会報告 (長瀬会長)

8月19日に開催された第6回理事会では、報告事項として①『医師の職業倫理指針[改訂版]』が刊行し、会員には日医雑誌9月号に同封し配布、来春卒業予定の医学生全員にも贈呈の予定であること、②日本医師会2008年度緊急レセプト調査(4~6月分)の結果として、総点数は前年同期比でマイナス0.31%、診療所が特に厳しく、後期高齢者の受診抑制が心配である等の報告があった。承認事項では医業税制検討委員会が取りまとめた「平成21年度医療に関する税制改正要望(案)」が提示され承認した。協議事項では日本医師会雑誌に関するアンケート調査の実施等について協議した。

4. 日医各委員会報告

(1) 日医各委員会の諮問事項について

1. 日本医師会会内委員会委員の推薦について
(深澤常任理事)

〈決定〉

長瀬会長に対する医療政策会議委員委嘱依頼を承認。

2. 外部各委員会等委員の推薦について
(深澤常任理事)

〈決定〉

5月開催の平成20年度第2回全理事会以降に諸団体から依頼があり推薦をした協議会委員2件につき報告、承認。

3. 支払基金審査委員会委員の推薦について
(西里常任理事)

〈決定〉

保険医代表1名(精神科)の辞任に伴う後任委員として、北海道精神科病院協会から推薦のあった1名を推薦することと決定。

協議事項

第1号 平成20年度北海道医師会賞受賞者に関する件(渡辺常任理事)

〈決定〉

8月5日の受賞者選定委員会で選定された8名を本年度の受賞者とする。

第2号 日本医師会代議員の繰上げ補充に関する件
(深澤常任理事)

〈決定〉

山代議員のご逝去により代議員1名が欠員となるため、道南ブロック選出の大北予備代議員を繰り上げ補充する。

第3号 北海道医師会国民保護業務計画に関する件
(目黒常任理事)

〈決定〉

平成16年に施行された「武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律(平成16年6月18日法律第112号)」により、各都道府県に国民保護計画の策定が求められ、北海道では平成18年1月に「北海道国民保護計画」を施行した。北海道知事が指定する指定地方公共機関に関しては、同法第36条第2項に定める業務計画を作成することが義務付けられ、それに対応すべく取り纏めた「北海道医師会国民保護業務計画(案)」を承認。

第4号 第130回北海道医師会臨時代議員会の開催に関する件(深澤常任理事)

〈決定〉

9月14日(日)午前10時から当会館8階会議室で開催する臨時代議員会の日程と提出議題を決定。

第5号 平成20年北海道医師会臨時総会の開催に関する件(深澤常任理事)

〈決定〉

9月14日(日)午後2時30分から当会館8階会議室で開催する臨時総会の提出議題を決定。

第6号 北海道医師会創立61周年記念行事の開催に関する件(深澤常任理事)

〈決定〉

11月9日(日)午後1時30分から札幌グランドホテルで開催する記念講演、記念式典、記念祝賀会の日程と次第を決定。

第7号 第2回郡市医師会長協議会の開催に関する件
(深澤常任理事)

〈決定〉

11月9日(日)午前10時から当会館8階で開催する。

第8号 平成20年度道医会費減免追加申請に関する件(深澤常任理事)

〈決定〉

道医会費減免申請者 研修医9名 免除額100,000円を承認。

第9号 理事提案事項

上埜理事より、先般依頼のあった「地域医療、保健、福祉を担う幅広い能力を有する医師」の養成を目的とする認定制度(案)に対する意見については来週早々に提出する旨述べられ、さらに今後郡市医師会の意見を求める場合は、道医の見解に郡市医師会の意見が反映されるよう、出来るだけ速やかに連絡いただきたい旨要望がなされた。

道総医協関連事項(三宅副会長)

20年度の委員名簿、三専門委員会(救急医療・地域医療・地域保健)の協議予定と当会における所管部および担当課、5月24日第2回全理事会の報告以降に開催された第42回総会ほか5会議について報告した。

第10回常任理事会

日時 平成20年8月26日(火) 18:00~19:14
場所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、榊山・山本・北野・渡辺・三戸・小山・目黒・藤原・深澤・西里・直江・橋本各常任理事、水元・中村各監事
(事務局:島影事務局長ほか12名)

協議事項

第1号 母体保護法指定医師の指定に関する件
(深澤常任理事)

8月20日の審査委員会で指定「可」とされた再審1名の申請者を指定医師とすることと決定。

第2号 北海道がん対策推進協議会委員の推薦に関する件(深澤常任理事)

長瀬会長を推薦することと決定。

第3号 日本医師会認定産業医の認定申請に関する件(小山常任理事)

認定要件を満たした新規38名、更新21名の申請を承認。日医へ推薦することと決定。

第4号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件(渡辺常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座41件、道医認定生涯教育講座21件、合計62件を承認することと決定。

第5号 その他

- (1) 「地域医療、保健、福祉を担う幅広い能力を有する医師」の養成を目的とする認定制度(案)の意見募集に対する当会回答(案)について
(渡辺常任理事)

認定制度創設そのものに反対する旨の回答を提出することと決定。なお、3つの郡市医師会から上がってきた反対意見も併せて提出することと決定。

- (2) 9月行事予定に関する件(事務局)

報告事項

1. 2008夏季医療安全教育セミナー [8月10日(日)～12日(火)・東京]について(橋本常任理事)

8月10日(日)～12日(火)の3日間、東京大学鉄門記念講堂において国際予防医学リスクマネジメント連盟主催で医療安全教育セミナーが行われた。参加者は300名余であり、医療事故調の問題、産科医療補償制度、各業界の安全対策から医療への適応などシンポジウムを交え活発に討議された。特に、Ai(オートプシー・イメージング)の導入や諸外国のコロナ制度の専門家育成については、日本でも参考にすべきであり、国のプロジェクトとして取り組むよう要望していくとのことであった。

2. 第52回社会保険指導者講習会 [8月21日(木)・22日(金)]について(西里常任理事)

標記講習会が、8月21日、22日の両日「心血管疾患診療のエクセレンス」をテーマに、日医と厚労省の主催のもと日医会館大講堂で開催された。1日目は「わが国の心血管疾患の動向と対策及び、心血管疾患(高血圧・心不全・冠動脈疾患・不整脈等)に関し6題の講演が行われた。2日目は「心血管疾患治療薬の上手な使い方、外来のあり方」の2題の講演と「総合討論」が行われた。また厚労省からは「医療提供体制の現状と課題」「平成20年度診療報酬改定の概要」について説明が行われた。最後に竹嶋副会長が総括し終了した(参加者は、1日目350名、2日目320名、合計670名)。なお、本講習会テーマの内容を北大・札幌医大・旭川医大医師会より推薦いただいた3先生に執筆いただき、道医報12月1日号本誌に掲載予定である。

3. 日医各委員会報告

- (1) 学校保健委員会 [8月20日(水)]について

(三戸常任理事)

委員長に衛藤隆氏(東京大学大学院教育学研究科教授)、副委員長に井藤尚之氏(大阪府医師会理事)と佐藤泰司氏(山形県医師会常任理事)を選出した。議事では、平成21年4月から施行の学校保健法等の一部改正について説明があった。また「平成20年度学校医講習会」を明年2月21日(土)に日医会館で開催することとした。そ

の後、会長より諮問のあった「学校健康教育の新しい展開」について、フリートーキングを行った。

4. 外部各委員会報告

- (1) インフルエンザワクチン安定供給連絡会議 [7月28日(月)]について(三戸常任理事)

平成19年度のインフルエンザワクチンの供給状況について報告があった後、平成20年度のインフルエンザワクチンの需給状況と安定供給対策について協議した。

- (2) 第1回北海道小児救急医療体制整備推進協議会 [8月6日(水)]について(三戸常任理事)

会長に富樫委員、副会長に山中委員・三河委員を選出後、小児救急電話相談、小児救急地域医師研修会の実施結果について報告があった。また、小児救急電話相談事業の今後の実施体制、小児救急電話相談員研修会の開催、小児救急地域医師研修事業の実施、小児二次救急医療体制の整備について協議が行われた。

- (3) 北海道犯罪被害者等支援推進委員会 [8月22日(金)]について(宮本副会長)

犯罪被害者等給付制度の抜本的な拡充等を目的とした「犯罪被害者等給付金の支給等に関する法律」が平成20年7月1日付けで改正施行されたことに伴う政令等の改正に則して、北海道でも関係規則等を整理し、併せて犯罪被害給付制度の拡充として、①障害給付金の上限額の設定、②重傷病給付金の最高額の引き上げ、③遺族給付金の最高額の引き上げ等を行ったとの概要報告を受けた。その他数件の議事を行った。

5. 各部報告

- (1) 第4回医療政策部担当理事会 [8月23日(土)]について(直江常任理事)

第130回臨時時代議員会における「当面の医療政策に関する件」の説明項目、決議案、9月から各地で実施する「地域医療に関する地域別意見交換会」の内容などにつき検討した。

- (2) 在宅当番医制事業に関する調査について

(目黒常任理事)

道医療政策課より、道費補助金の平成21年度予算確保に向け、在宅当番医制参加医療機関の患者動向および実施状況の調査を実施するにあたり、協力要請があり了承した。なお、本調査は一定期間内に当番を実施した医療機関と郡市医師会が対象であり、郡市医師会を經由して協力を依頼する。

道総医協関連事項

1. 第2回地域医療専門委員会 [8月19日(火)]について(宮本副会長)

臨時委員の委嘱について報告があり、その後、在宅医療に関するアンケート調査結果および報告書の作成、へき地診療所等への医師派遣を行う民間医療機関について協議が行われた。